

2022年の北陸地方の天候経過

—北陸地方の天候の特徴と気象トピックス—

- ◆ 冬(2021年12月～2022年2月)は、断続的に冬型の気圧配置強まり、低温。
- ◆ 春(3～5月)は、高気圧に覆われ晴れた日が多く かなりの多照。
- ◆ 夏(6～8月)は、梅雨の期間(6・7月)は記録的な高温、8月は記録的な大雨。
- ◆ 秋(9～11月)は、かなりの高温・かなりの多照・少雨。
- ◆ 12月は、中旬から下旬にかけて大雪、記録的な降雪となった所も。かなりの多雨・多雪
- ◆ 2021年秋からラニーニャが続き、2月では新潟県津南では24日、最深積雪419cmと1989年の統計開始以降、1位となる積雪となるなど、寒い冬となった。
- ◆ 6月下旬は記録的な高温となり、各地で気温の6月としての極値を更新するなど、暑い夏となった。
- ◆ 8月は、低気圧や前線の影響を受けることが多く、3日から5日にかけては、線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となった所もあり、かなりの多雨となった。

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

☆冬(2021年12月～2022年2月)

はじめ寒気の南下は弱かったものの、12月後半以降は強弱を繰り返しながら断続的な冬型の気圧配置となったため気温は低くなった。また、今冬の降水量・降雪量は平年並だったが、たびたび強い寒気が流れ込んだ影響で大雪となった所もあり、12月と2月の降雪量は多かった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	12～2月	12月	1月	2月
平均気温平年差	-0.5℃	+0.1℃	-0.6℃	-1.0℃
階級	低い	平年並	低い	低い
降水量平年比	104%	119%	75%	120%
階級	平年並	多い	少ない	多い
日照時間平年比	97%	96%	112%	88%
階級	平年並	平年並	多い	少ない
降雪量平年比	124%	157%	78%	164%
階級	平年並	多い	少ない	多い

☆春(3月～5月)

寒気の影響を受けにくかったことや、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、日照時間がかなり多かった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差	+ 1.0℃	+ 1.2℃	+ 1.3℃	+ 0.6℃
階級	高い	高い	高い	高い
降水量平年比	86 %	73 %	103 %	88 %
階級	少ない	少ない	平年並	平年並
日照時間平年比	114 %	100 %	118 %	120 %
階級	かなり多い	平年並	多い	かなり多い

☆夏(6月～8月)

6月下旬から7月上旬は、盛夏期と比べても強い太平洋高気圧に覆われ、晴れる日が多く記録的な高温となった。8月は低気圧や前線の影響を受けやすく、記録的な大雨・多雨となった。

梅雨入りは、「6月6日ごろ(早い)」、梅雨明けは「特定できない」となった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差	+ 1.1℃	+ 1.5℃	+ 1.4℃	+ 0.4℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並
降水量平年比	122 %	63 %	96 %	208 %
階級	多い	少ない	平年並	かなり多い
日照時間平年比	106 %	128 %	121 %	77 %
階級	平年並	かなり多い	多い	少ない

☆秋(9月～11月)

9月で暖かい空気に覆われやすく、11月で寒気の影響が弱かった。この秋の後半を中心に高気圧に覆われやすく、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、気温はかなり高く、日照時間はかなり多く、降水量は少なかった。

表：3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差	+ 0.8℃	+ 1.3℃	- 0.5℃	+ 1.7℃
階級	かなり高い	高い	低い	かなり高い
降水量平年比	80 %	86 %	77 %	75 %
階級	少ない	平年並	少ない	少ない
日照時間平年比	113 %	106 %	103 %	135 %
階級	かなり多い	平年並	平年並	かなり多い

☆12月

低気圧が通過した後は、冬型の気圧配置が続きやすく、中頃からは強い寒気が流れ込むことが多くなり、記録的な降雪となった所もあった。このため、気温は低く、日照時間は少なく、降水・降雪量はかなり多かった。

☆年

2022年は、低温は一時的だったことや、6月下旬から7月上旬で記録的な高温となるなど、春から秋にかけて気温の高い状態が続き、年平均気温は高かった。

春と秋を中心に高気圧に覆われやすく、晴れの日が多かったため、年間日照時間は多かった。

前年12月後半以降に強い寒気の影響を受けたため、冬の平均気温は低かった。

8月を中心に低気圧や前線などの影響を繰り返し受けたため、夏の降水量は多くなり、曇りや雨の日が多く、梅雨明けが特定できなかった。

表1 2022年 北陸地方気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級				
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)			
新潟	14.5	(+0.6)	+	2002.0	(108)	+	171	1751.7	(107)	+
相川	14.7	(+0.6)	+*	1734.5	(110)	+	167	1761.5	(108)	+
高田	14.3	(+0.4)	+	2892.5	(102)	○	193	1667.3	(105)	○
富山	15.1	(+0.6)	+	2401.5	(101)	○	169	1775.5	(108)	+
伏木	14.7	(+0.5)	+	2234.5	(98)	○	169	1796.7	(109)	+
金沢	15.7	(+0.7)	+	2223.5	(93)	-	160	1902.7	(111)	+*
輪島	14.3	(+0.5)	+	2264.0	(105)	○	179	1699.9	(108)	+
福井	15.4	(+0.6)	+	2467.0	(107)	○	167	1826.4	(110)	+*
敦賀	16.2	(+0.6)	+	2066.5	(94)	○	155	1702.9	(107)	+

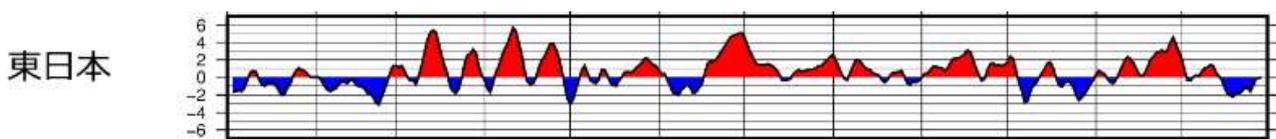


図1 東日本の平均気温平年差(5日移動平均 単位°C)

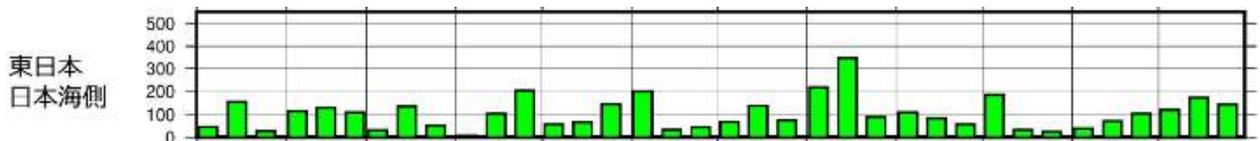


図2 北陸地方(東日本日本海側)の降水量平年比(旬別 単位%)

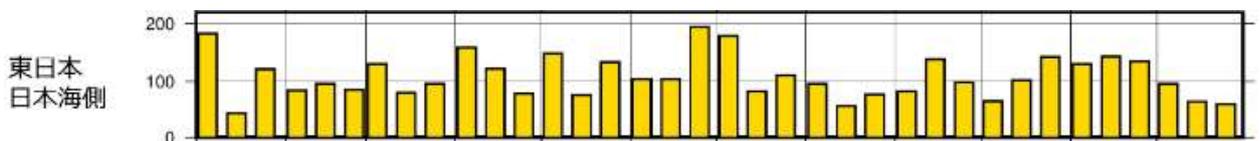


図3 北陸地方(東日本日本海側)の日照時間平年比(旬別 単位%)

表2 2022年の年別で順位を更新した記録(3位以内)

◎年の平均気温の高い方から

順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦年) ℃	統計開始	平年値 ℃
3	輪島	14.3=	+0.5	14.6(2020)	1929	13.8

注) =はタイ記録を示す。

表3 2022年の季節(3か月)別で順位を更新した記録(3位以内)

◎3か月間の平均気温の高い方から

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦) ℃	統計開始	平年値 ℃
3-5	3	相川	12.2=	+1.0	12.4(2016)	1912	11.2
		富山	13.4=	+1.2	13.6(2018)	1939	12.2
		金沢	13.7=	+1.1	13.9(2016)	1882	12.6
6-8	1	輪島	24.7=	+1.2	24.7(2010)	1929	23.5
		相川	24.3=	+1.1	24.5(2010)	1911	23.2
	2	金沢	26.2	+1.3	26.3(2018)	1882	24.9
		福井	26.3=	+1.1	26.6(2018)	1897	25.2
		富山	25.8	+1.2	26.0(2018)	1939	24.6
	3	敦賀	26.4=	+1.0	26.6(2018)	1898	25.4
9-11		1	富山	17.9=	+0.9	17.9(2020)	1939
	2	伏木	17.9	+0.9	18.0(1961)	1884	17.0
		福井	18.2	+1.0	18.3(2019)	1897	17.2
		敦賀	19.0=	+0.8	19.2(2019)	1897	18.2
	3	相川	17.9=	+0.7	18.3(2020)	1911	17.2
金沢		18.4=	+0.9	18.5(2019)	1882	17.5	

注) =はタイ記録を示す。

◎3か月間の降水量の多い方から

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高(西暦) mm	統計開始	平年値 mm
6-8	3	福井	858.5	158	1165.3(1953)	1897	543.4

◎3か月間の日照時間の多い方から

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高(西暦) h	統計開始	平年値 h
9-11	2	富山	463.1	118	470.7(2014)	1939	394.0

表4 2022年の月別で順位を更新した記録(3位以内)

◎月平均気温の高い方から

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦) ℃	統計開始	平年値 ℃
4	3	敦賀	15.1	+1.7	15.7(1998)	1898	13.4
6	1	富山	23.3	+1.9	23.0(2020)	1939	21.4
		金沢	23.4	+1.8	23.3(1979)	1882	21.6
	2	高田	22.4	+1.5	22.7(1979)	1922	20.9
		伏木	22.6	+1.8	22.7(1916)	1884	20.8
		輪島	21.6=	+1.6	21.7(1979)	1929	20.0
		敦賀	23.6=	+1.5	23.9(1979)	1898	22.1
3	福井	23.8	+1.8	23.9(1979)	1897	22.0	
7	2	輪島	26.1	+1.7	26.7(2018)	1929	24.4
	3	新潟	26.6=	+1.7	27.4(2018)	1881	24.9
		金沢	27.3=	+1.5	28.3(2018)	1882	25.8
11	1	富山	13.1=	+1.9	13.1(2004)	1939	11.2
		相川	13.5	+1.7	13.7(2004)	1911	11.8
		金沢	13.6=	+1.7	13.8(2004)	1882	11.9
		福井	13.1=	+1.8	13.2(2003)	1897	11.3
		敦賀	14.3=	+1.6	14.7(2003)	1897	12.7
	3	新潟	12.2	+1.7	13.0(2004)	1881	10.5
		高田	12.1	+1.6	12.5(2004)	1922	10.5
	伏木	12.9=	+1.8	13.0(2003)	1884	11.1	

注) =はタイ記録を示す。

◎月降水量の多い方から

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高(西暦) mm	統計開始	平年値 mm
8	1	福井	465.5	309	341.0(2021)	1897	150.7
12	2	新潟	400.0	177	444.0(2014)	1881	225.9
		相川	345.0	196	361.5(2014)	1911	175.7
	3	輪島	479.0	172	549.0(2014)	1929	278.4

◎月間日照時間の多い方から

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高(西暦) h	統計開始	平年値 h
11	1	富山	153.3	146	138.4(2021)	1939	105.1
		伏木	148.4	142	141.3(1954)	1893	104.6
		金沢	154.7	142	145.2(1909)	1891	108.6
	2	福井	159.3	139	165.4(1954)	1898	114.4

◎月最深積雪

月	順位	官署	実況値 cm	起日	これまでの最深（起日） cm	統計開始	平年値 cm
12	2	新潟	68	20	79(1960/12/31)	1890	8

(注) 1. 平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+-」に * を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、「×」は欠測を示す。

「)」付きの値は正常の値とみなせますが、「]」付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。